

英語科学習指導案

平成15年12月2日(火)第5校時
2年A組 基礎コース 指導者 柴田 祥子 阿部 亮一
発展コース 指導者 石坂みさほ テレサ・パウエル

1. 題材名 Unit6 Christmas Is Coming (NEW HORIZON English Course 2)

2. 考察

(1) 題材観

本題材は、クリスマスがテーマであり、クリスマスの時期を迎えたマイク家の中の様子やクリスマスカード、また「きよしこの夜」の誕生秘話についての内容が取り上げられている。

Starting Out は、オーストラリアから日本に留学している中学生マークの家が舞台である。クリスマスを間近に控え、飾り付けが進んでいるマークの家の居間の情景が描かれている。部屋の壁には送られてきたクリスマスカードが飾られ、木には美しい装飾が施されている。また、その木のもとにはたくさんのクリスマスプレゼントが置かれている。ここでの新出文型は **There is/are** 構文の肯定文である。

Dialog は、マークと由美との対話場面である。由美はマークの家の壁に飾られたクリスマスカードの中の一つを見ながら、マークに話しかけている。ふたりは、クリスマスがキリストの誕生日であることやそのクリスマスカードがオーストラリアにいるマークの姉ベッキーから送られてきたものであることを話題にしている。サンタクロースがサーフィンをしていることから、オーストラリアのクリスマスが夏であることにも触れることができる。ここでの新出文型は **There is/are** の疑問文とその答え方である。

Reading for Communication は、「きよしこの夜」の誕生秘話がかかれている。新出文型は動名詞である。

(2) 題材の系統

言語材料について

- ・ **be** 動詞：1年生では現在形、2年生では過去形を既習。
- ・ 現在分詞：1年生で現在進行形を既習。
- ・ 不定詞の名詞的用法：2年生で既習。
- ・ **SVC**：1年生で既習。

内容について

1年生では、クリスマスの特に取り上げた題材はないが、オーストラリアについては「南半球からのメール」「外国からの友達」「アメリカの学校から」「ようこそオーストラリアへ」「夏の冬休み」「それぞれのお正月」と数多く取り上げられている。

2年生では、「Happy Christmas」「グリーティングカード」で、クリスマスが扱われている。

(3) 生徒の実態

基礎コース(男子5名、女子14名、計19名)

ゲーム性を持ち合わせた言語活動では、楽しそうに取り組める生徒が多いが、そのときの気分により、活動に参加しない生徒もいる。

話す表現活動では、全員で同時に行う形態の場合、男女で分かれる傾向が強いが、人数が多いことも手伝い、時間内に多くの生徒と活動を行っている。活動を始めた数分の段階では、はっきりと意思伝達できない生徒もいるが、次第に慣れて、活動に溶け込んでいる。

書く表現活動では、数名の生徒が自分だけで英文を書くことが難しく、教師の支援を必要としている。

英文を聞いて理解する活動では、全員の生徒が取り組むことができる。内容については大まかな内容を把握することができるが、細部の情報や英文の後半部分を理解するのが難しい。内容がほとんど捉えられない生徒もいる。

英文を読んで理解する活動では、自分の力だけで、英文を読み進めることができる生徒は少なく、はじめに教師が概略について絵などを提示しながら英語で説明したり、英文を読んだりする。そして、新しい語句の意味を全員で確認し、本文を全員で読み進めている。本文に関する問いの中で、×で答える問題の正解率は比較的よいが、英語で出された問いに、英語で答える問題では、正解数が減っ

てしまう。

言語に関する知識理解では、その時間に学習した内容を理解することができる生徒は多いが、次の時間になると忘れてしまう傾向が強い。そのため、教科書の Starting Out や Dialog の部分では、理解しながら、意欲的に取り組むことができるが、Reading for Communication の部分では、既習の複数の英文と、新たに学習したばかりの英文で構成された長い英文を理解することが中心になるため、意欲を失いがちである。

題材の文化的背景や歴史的背景については、興味を持って自分の考えを発言したり、表記したりすることができる。

授業終了後の自己評価カードでは、その時間の学習内容について、わからなかった点を記述しているが、そこには次のようなことが書かれている。

- ・わからない単語がいくつかあった ・プリントがよくわからない ・教科書の読みがまだもう少し ・集中できなかった ・文章問題の答え方がよくわからない ・文の意味や書き方がわからない ・まだスラスラ読めない
- ・よくわかった ・教科書の内容がだいたい理解できた ・意味がわかってよかった ・今日は積極的に声を出せた ・なんとなくわかった ・プリントができた ・英文が読めた ・だんだんと英文とかが理解できるようになった ・けっこうわかった ・わかるようにしていきたい
- ・意味は完璧です

発展コース(男子11名、女子11名、計22名)

多くの生徒が様々な表現・理解活動によく取り組むことができる。

話す活動では、活動の意図を理解し、新しく学習した表現を使おうという姿勢が見られ、楽しんで取り組んでいる。また、発音や音と音のつながり、強弱なども大きな声を出して練習することができる。

書く活動では、丁寧に、また正確に文を組み立てようと努力し、辞書を用いて自分で書こうとする。

聞いて理解する活動では、ほとんど全員の生徒が英文の概略を理解することができ、細かな点についても一度で理解する生徒もいる。

読んで理解する活動では、時間はかかるが、全員の生徒が初めて目にする英文を自分で辞書を使いながら、ひとりで読み進めていくことができる。その内容について、最初に教師が説明をしたり、新出単語の意味を提示することがなくても、粘り強く取り組むことができる。また、生徒同士で英文の意味を考えあう場面も見受けられる。

内容に関して、英語で聞かれて、英語で答える問題に取り組むことができ、その正解率は回を重ねるごとに高くなっている。

題材に関する文化的、歴史的背景には、興味を持って発言したり、考えたりすることができる。

授業終了後の自己評価カードでは、その時間に学習した内容について、わからなかった点を記述しているが、そこには次のようなことが書かれている。

- ・訳すのが大変だった ・ケアレスミスが多すぎた ・プリントで少し迷った ・文の構造理解で迷った
- ・比べるの発音が難しかった ・プリントの直しが難しく迷った ・訳に時間がかかった ・英語で答える問題が難しかった ・訳で迷った
- ・文の構造は完璧 ・チャンスのとき次は手を挙げようと思う ・よく手が上がった ・テストが思っていたよりよくできた ・プリントがたくさんできた

(4) 指導方針及び留意点

- ・ 授業中の生徒の表情や生徒の評価自己評価カード等を参考に、生徒ひとりひとりがどのように学習内容を理解しているかを把握し、次の活動や次時の授業に役立てるようにする。
- ・ 生徒の取り組み状況や自己評価カード等を参考に、生徒が興味・関心を持って活動ができる授業を担当教員が協力して計画する。
- ・ 生徒の活躍やよい点を誉め、次への自信につながるようにする。
- ・ ふたりの英語教員、ALT、日本人TT教員が適宜情報交換を行い、全員で生徒理解と指導に努める。
- ・ 1時間の授業の中に、全生徒が英語を用いて参加できる活動を取り入れる。
- ・ 新出文型については、一人でも多くの生徒が十分に理解できるように、言語活動の工夫、書く活動の確保を図る。また、既習の新出表現や新出単語の復習を行うように努める。
- ・ 授業中は常に一つの活動を全員が取り組ませる。また、問題練習などでは、個々の生徒の実態に合わせて、生徒が選択して学習する場面を設け、それぞれの生徒の学力向上に努める。

(5) 授業中における生徒指導

- ・ 生徒が安心して授業に取り組めるように、温かい雰囲気のある授業に努める。
- ・ 生徒のよかった活動や態度に目を向け、全員に知らせる。
- ・ 全員で行う言語活動のときやワーク等個人で行う活動のとき、ひとりひとりの生徒の取り組みに注意を払い、個別指導にあたる。
- ・ 指名については、偏りのないよう配慮する。
- ・ 宿題を出したときには、次時の最初に確認し、行って来ない生徒には、その理由とその課題をどのように処理しようと考えているのか聞くようにする。

校内研修との関わり

2年生では基礎・発展の二つのクラスを設定している。選択については、本人の希望で分けている。単元テスト終了時に確認をしているが、希望があればいつでも移動できるようにしている。また、単元テスト終了後に教員が基礎クラスから発展クラスへの移動を個人に伝える場合もある。

基礎・発展ともに一つの題材の総授業時数は同じとし、その中でどのように進めて行くかは担当教員がそれぞれ計画を立て、担当教員で確認している。

基礎クラスでは、まず前半部分で前時の復習を行い、その後、本時の内容を学習する。復習では、前時まで使った文型を口頭練習したり、一度解いたプリントももう一度繰り返すことが多い。

授業は、基本的には教科書1ページを2単位時間で扱う。最初の時間は新しい文型を学習し、二時間目に教科書本文の内容を理解する。文型の学習は、プリントを用いて構造を学習し、それを用いた言語活動をする場合が多い。教科書本文は、まず、教員がはじめに英語や絵、ビデオなどを活用してその内容を伝える。次に、新出単語や表現を練習する。その後、本文の意味を確認し音読を行う。最後に、本文の内容に関わる英語の問いに英語で答える活動を行っている。

発展クラスでは、はじめの4～5分で前時の復習を行う。次に、本時の内容を学習する。授業は基本的に教科書1ページを2単位時間で扱い、最初の時間に新しい文型を理解し、次の時間は教科書の内容理解を行っているが、生徒は理解が速く、課題にかかる時間が短い。ため、教科書本文の新しい文型を用いて、会話文を作って発表を行うなど、教科書以外の課題に取り組む場合も多い。

教員は、2～3の単元ごとに交代する。また、TT教員は基本的に基礎クラスを担当し、ひとりで課題に取り組むことが困難な生徒の側で解き方や単語の読み方、綴り方を支援する。ALTを含めた4人の教員が授業中ひとりひとりの生徒に配慮するために、生徒の自己評価カードへのコメントや授業の様子について、情報交換を日常的に行うようにしている。

評価は、各単元のテストと授業中の様子、提出物を見て行う。単元テストはその単元の学習に入る前に、A基準とB基準を考慮して、各観点に分けて行う。関心・意欲・態度は、授業の様子を見て評価を行う。表現は筆記問題と口頭試験を行い評価する。理解は筆記試験とリスニング試験を行い評価する。基礎クラスでは、B基準の問題がほぼ解答できるように授業を行う。

3. 本題材の目標

- ・ クリスマスを間近に控えた外国の様子に関心を持ち、その風習やクリスマスに広く知られる「きよしこの夜」の誕生秘話を理解しようとする事ができる。
- ・ **There is / are** 構文と動名詞の文型
- ・ を理解し、これらを用いて、聞く・話す・読む・書く活動に取り組むことができる。

4. 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

A: はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。新出文型を用いた言語活動に積極的に取り組んでいる。挙手や宿題の提出ができる。

B: 他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。新出文型を用いた言語活動に取り組んでいる。挙手や宿題の提出ができる。

表現の能力

A: **There is / are** や動名詞等を用いて、正確な会話活動や記述表現ができる。

B: **There is / are** や動名詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。

理解の能力

A: **There is / are** や動名詞等を含む英文の内容を、聞く・読む活動から正確に理解できる。

B: **There is / are** や動名詞等を含む英文の内容を、聞く・読む活動から大まかに理解できる。

言語や文化についての知識・理解

- A: 新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、**使うことができる**。プリント等、**正確に**正解できる。クリスマスについての知識を記述できる。
- B: 新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解することができる。プリント等、**6割程度**。クリスマスについての知識を記述できる。

5. 指導計画及び評価項目(全10時間予定 本時はその2時間目) 上段:B基準 下段:A基準

学習内容	時間	評価項目と評価方法			
		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
・ There is / are 構文の肯定文を用いた言語活動と用法理解。	1	【観察・カード点検】 言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 There is / are 構文の肯定文の文型を理解できる。
		【観察・カード点検】 はっきりとした口調で言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 There is / are 構文の肯定文の文型を理解し、使うことができる。
・ 前時までの復習。 ・ Starting Out の教科書理解。	1・本時	【観察・カード点検】 本文の音読に取り組んでいる。	【観察】 外国のクリスマスの様子を There is / are 構文を使って、言うことや書くことができる。 【観察・点検】 教科書の本文を音読、暗唱することができる。	【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。	
		【観察・カード点検】 本文の音読に取り組んでいる。 【観察・カード点検】 クリスマスを控えた外国の様子を理解しようとしている。	【観察】 外国のクリスマスの様子を There is / are 構文を使って、正確に言うことや書くことができる。 【観察・点検】 教科書の本文を正確なイントネーションや発音に気を付けて音読、暗唱することができる。	【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。	
・ 前時までの復習。 ・ There is / are 構文の疑問文とその答え方を用いた言語活動と用法理解。	1	【観察・カード点検】 言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 There is / are 構文の疑問文とその答え方の文型を理解できる。
		【観察・カード点検】 はっきりとした口調で言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 There is / are 構文の疑問文とその答え方の文型を理解し、使うことができる。
・ 前時までの復習。 ・ Dialog の教科書理解と暗	2	【観察・カード点検】 本文の音読に取り組んでいる。	【観察・点検】 教科本文をペアで音読、暗唱することができる。	【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。	

唱。		【観察・カード点検】 本文の音読に取り組んでいる。	【観察・点検】 教科書の本文を正確なイントネーションや発音に気を付けて音読、暗唱することができる。	【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。	
・前時までの復習。 ・動名詞を用いた言語活動と用法理解。	1	【観察・カード点検】 言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 動名詞とその用法を理解できる。
		【観察・カード点検】 はっきりとした口調で言語活動に取り組んでいる。			【観察・プリント点検】 動名詞とその用法を理解し、使うことができる。
・前時までの復習。 ・Reading for Communication の教科書理解。	2	【観察・カード点検】 本文の読み取りに取り組もうとしている。		【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。 教科書に関する英語の問いに英語で答えることができる。	
		【観察・カード点検】 自分の力だけで本文の読み取りに取り組もうとしている。		【観察・ノート点検】 教科書本文の日本語訳をすることができる。 教科書に関する英語の問いに正確な英語で答えることができる。	
・前時までの復習。 ・ノートのまとめ。 ・ワーク。	1				【観察・ノート点検】 ノートやワークへの記述が6割程度できる。
					【観察・ノート点検】 ノートやワークへの記述が正確にできる。
単元テスト	1		・新出表現を用いて記述表現ができる。 ・新出表現を用いて口頭表現ができる。 テストの表現の問題を9割以上できた場合には A, 6 ~ 7割できた場合には B とする。	・新出表現が含まれた英文を聞いて理解することができる。 ・新出表現が含まれた英文を読んで理解することができる。 テストの理解の問題を9割以上できた場合には A, 6 ~ 7割できた場合には B とする。	・新出表現の文法構造を理解することができる。 ・クリスマスや「きよしこの夜」の誕生について日本語で記述説明することができる。 テストの言語文化の問題を9割以上できた場合には A, 6 ~ 7割できた場合には B とする。
・テスト直し ・選択学習	1	・テストの間違え部分を直し、終わった生徒は、B基準をクリアしている場合は発展問題、していない場合は基礎の繰り返しの問題に取り組む。			

本時の学習
〔基礎コース〕

授業の視点

ビデオを用いての活動は、生徒が欧米のクリスマスの様子について興味を持って学習に取り組むための手段として有効であったか。生徒が同じ文章を繰り返し、読んだり書いたりしたことは、基本本文の定着に有効であったか。

指導と評価の一体化については、T1とT2が役割分担をして、生徒の発話や机間巡から生徒の理解をその場で見取り、次の指導に役立てようとしたことは、ひとりひとりの生徒が本時の学習内容を理解するのに有効であったか。

(1) ねらい

- ・ 前時に学習した There is / are の復習に取り組むことができる。
- ・ 教科書本文内容を理解し、音読することができる。
- ・ 本日の学習を通して、外国のクリスマスの様子について知識を得ることができる。

(2) 準備

- ・ 教師：教科書、ワーク、単語カード、文カード、プリント、ビデオテープ
- ・ 生徒：教科書、ノート、ワーク

(3) 展開

評 指導と評価の一体化の関わりで、授業中における評価の部分

指 指導と評価の一体化の関わりで、授業中における指導の部分

学習内容	時間	生徒の活動 (予想される生徒の反応・言葉)	教師の活動及び支援	評価 項目 【方法】
あいさつ	1	あいさつをする。	あいさつをする。	
前時の復習	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題が出ていた場合には、教師にチェックしてもらい、支持された活動を行う。やっていない場合にはそれをどうするかを伝える。 ・ 文カードを読む。カードの英文を言う。 (スラスラ言える生徒が数名。多くの生徒が忘れてる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題を出した場合は、他の生徒に活動の支持を出した後、T1：生徒の宿題を確認する。 ・ T1：文カードを提示し、生徒が前時に学習した There is / are 構文を思い出させるようにしながら英文を繰り返し練習させる。次の活動にもつながるので全員の生徒が言える機会を確保する。T2：机間巡視をして口の動いていない生徒の側に行き、口頭で支援する。 	
本文の内容理解	43	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「クリスマス」をテーマに連想ゲームをする。 ・ 生徒が書いたクリスマスの様子を単語や英文で言う。 ・ 実際の外国の様子をビデオを見て、クリスマスの雰囲気を感じ取る。 ・ ビデオに映っていた場面の様子を There is / are 構文を用いて、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1：単語、日本語、絵で「クリスマス」から連想されるものを書いていくように伝える。 ・ T1：単語や語彙を黒板に書き込んでいく。 ・ T1：ビデオの内容説明をする。生徒にビデオを見る前に、表現活動内容を伝える。T2：機間巡視をする。指 活動内容がわからない生徒にもう一度説明する。 ・ T1：全文がわからないときは、わかる範囲で発言するよ 	<p>【観察・カード点検】 クリスマスを抑えた外国の様子を理解しようとしている。</p> <p>【観察】 外国のクリスマスの様子を There is / are 構文を使っ</p>

		<p>英語で言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオに映っていた場面の様子を英文で書く。 外国のクリスマスの様子について知識を得る。 教科書を開き、本文に何が書かれているか理解する。 教科書に書かれていることをペアで確認し、意味を声に出し、内容を理解する。 新出語句の意味確認と音読練習をする。本文を音読、暗唱をする。 本文の音読、暗唱練習を何度も繰り返し行う。 音読を隣の席の生徒に聞かせる。ノートに本文を写し、日本語訳をする。 	<p>うに伝える。生徒が発言した単語や文を黒板に書く。特に、教科書本文に関わる単語を中心に板書する。T2：生徒の活動にいっしょに混ざる。</p> <ul style="list-style-type: none"> T1：黒板にある英文をもう一度書くように指示する。評クラス全体を机間巡視する。指できている生徒には発表された英文以外の文を書くよう指示する。T2：指英文を書くことができない生徒の側で、綴り方等を支援する。 T1：外国のクリスマスの様子を本校のALTから聞いた話として生徒に日本語で伝える。 T1：教科書を開くように伝えたら、英文の内容を読み取るように指示する。T2：評机間巡視する。指内容理解をするのが難しい生徒の側で意味を考えるのを支援する。 T1：本文の意味をペアで確認するように伝える。評本文の内容を一文ずつ学級全体に聞く。 T1：新出単語の音読と書く練習を指導する。続いて本文の音読を指導する。可能な範囲で、暗唱につなげる。T2：評机間巡視をする。評音読のときに口が動いていない生徒に側で音読の支援をする。 T1：ノートのまとめを指示する。評机間巡視をする。指言えない生徒の支援をする。また、日本語訳ができない生徒の支援をする。T2：指訳ができていない生徒の支援をする。T1：指次時まで自己評価カードと見取りから本文の意味が理解できない生徒に支援の用紙を書いておく。 	<p>て、言うことや書くことができる。</p> <p>【観察・カード点検】本文の音読に取り組んでいる。</p> <p>【観察・ノート点検】教科書本文の日本語訳をすることができる。</p>
自己評価とあいさつ	1	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードに記入する。 宿題を聞く。 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題を提示する。 あいさつをする。 	

〔発展コース〕

授業の視点

クイズや絵を用いた活動は、生徒が欧米のクリスマスの様子について興味を持つための手段として有効であったか。

指導と評価の一体化については、ノートやカードで本時の学習を振り返り、There is[are]の表現を用いて、自由に表現する発展的な学習課題に取り込むという流れは、定着を図る上で効果的であったか。

(1) ねらい

- ・ There is[are]を含む文を読み、クリスマスの時期の欧米の家庭の部屋の様子を理解できる。
- ・ 部屋の絵を見ながら、部屋の中の様子を There is [are]などを用いながら相手に伝えるように表現できる。

(2) 準備

- ・ 教師：教科書、ワーク、単語カード、文カード、プリント、絵
- ・ 生徒：教科書、ノート、ワーク、

(3) 展開

学習内容	時間	生徒の活動 (予想される生徒の反応・言葉)	教師の活動及び支援	評価項目 【方法】
あいさつ	1	あいさつをする。	あいさつをする。	
前時の復習	5	・カードを用いて There is[are]構文の口頭練習をする。 ALT について読む。 日本語を見て英語で言う。	・ ALT は There is[are]の文が書かれているカードを提示し、生徒が、前時に学習した内容を思い出せるよう、英文を繰り返し練習させる。JET は机間巡視をして生徒の口の動きを観察し、上手く言えていない部分をゆっくり繰り返し聞かせる。ALT に必要な練習の指示を出す。	
教科書本文 (p.46)	20	【導入】 ・クリスマスに関する ALT の質問に、簡単な英語で答える。 ・クリスマスを間近に控えた ALT の家の居間には何が飾られているのかを予想し、There is [are]を用いて英語で言う。 ・ツリー、プレゼント、カードが居間にどのように飾られているかを考え There is [are]構文を用いて英語で言う。 ・本文を黙読し、ツリー、プレゼント、カードがどのように飾られているかを読みとる。 ・本文を見ながら ALT の質問に英語で答える。	・ALT は新出語句を取り上げながらクリスマスを話題にしたクイズを出し、生徒に題材に対して興味を向けさせる。クイズの中で生徒が理解しにくい表現があれば JET がヒントを出す。 ・ALT は、クリスマスを間近に控えた彼女の家の居間には何が飾られているかを生徒に問う。ツリーやプレゼントの絵、カードを提示し、それぞれが居間にどのように飾られているかを考えさせる。 ・ALT は生徒に教科書を開き、本文を黙読し、答えを見つけるよう指示する。 ・ALT はツリーやプレゼント、カードがどこにあるかを英語で問う。	【観察】 クリスマスを控えた外国の様子を理解しようとしている。 【観察】 クリスマスを控えた外国の様子を理解しようとしている 【観察】 外国のクリスマスの様子を There is / are 構文を使って、正確

		<p>【口頭練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT のモデル読みを聞く。 ・ALT について読む。 ・絵を見ながら自分で言う。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵の内容をノートに英語で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT は本文を読む。次に生徒に後について読ませる。発音、アクセント、音調なども意識させる。JET は期間巡視をしながら練習に加わり、上手く言えていない生徒がいれば支援する。 ・JET は絵の内容を書くよう指示し、ALT とともに期間巡視をし、正確に書けない生徒に対して、支援する。 	<p>に言うことができる。</p> <p>【観察・ノート】 教科書の本文を正確なイントネーションや発音に気を付けて音読、暗唱することができる。またその文を書ける。</p>
発展課題	23	<ul style="list-style-type: none"> ・理想的な自分の部屋のクリスマスデコレーションの絵を描く。 ・There is[are]の表現を用いて、絵についての説明文を書く。 ・発表の練習をする。 ・グループで発表する。 ・時間があれば全員の前で数名が発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT は生徒に紙を配り、クリスマスの飾りつけをした自分の部屋の絵を描くよう指示する。ALT/JET は自分の部屋のデコレーションを書いたモデルピクチャーを見せる。 ・There is[are]を用いて絵についての説明を書くよう指示する。ALT/JET はモデル文を見せる。ALT/JET とともに期間巡視をし、生徒を支援する。 ・ALT/JET とともに発表のモデルを示し、生徒に練習させる。ALT/JET とともに期間巡視をし、生徒を支援する。 ・ALT はグループで発表するよう指示する。JET / ALT とともに机間巡視をし、発表の様子を見る。生徒の発表にコメントを言ったり、意欲的な態度や優れた表現を賞賛をする。 ・生徒の発表を聞く。JET /ALT とともに優れた表現を賞賛する。発表文の中で不完全な部分があればALT がその場で指導する。 	<p>【観察・プリント】 There is / are 構文を使って、自由に書くことや言うことができる。</p>
自己評価とあいさつ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに記入する。 ・宿題を聞く。 ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題を提示する。 ・あいさつをする。 	